

優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞

水からのおくり物

熊本県 熊本県立宇土中学校

一年

荒木 美里

「あつつういねえ、水源に行こうか。」

そう言っ出て出かける近くの水源は「轟水源」と言う名前で、私の大好きな場所です。

大好きな理由は、いくつかあります。一つ目は、この轟水源は水がきれいなことです。名水百選にも選ばれているほど水が透みきっています。遠くからペットボトルを用意して水をくみにこられたり、近所の方は井戸水として生活用水に引いていらつしやるところもありません。今もなお使われている上水道では、日本最古のものでそうです。その水は冷たく透明で、手ですくって飲むと「おいしいっ」と感じます。こんなにおいしい水は百年以上が年がかかってできています。山に雨が降って、その雨がしみこんで土の層を通り、ゆっくりゆっくりきれいな水になって、湧き出てくると聞きました。今、飲んでいる水はおよそ百年前のものと思うとびっくりします。私は、水がしみこんでいく様子を思い浮かべました。そして、とても歴史ある水だと改めて感じました。

二つ目の理由は、きれいな水の中に、たくさん生き物があると聞くことです。小さな魚のオイカワや黒エビ、サワガニ、五センチくらいのドンコ、アメンボ、時には牛ガエルのオタマジャクシもいます。こんな生き物を捕まえられるのも轟水源のいいところだと思います。魚が口をパクパクさせたり、スイスイ泳いだりするところがかわいくて、大好きです。

「あつ、そつちに行つた。」

「やつたあ、捕まえたよ。」

と言う声も聞こえてきます。綱を片手に一生懸命追つて捕まえることが初めてできた時はとてもうれしかったです。

こんなきれいな水のあるところだからこそたくさん生き物がよつてくるのだと思います。それに、魚を捕まえて飼っていると、新しい発見もありました。それは魚が元気なことです。お店で買ってきた魚に比べて、動きも速く、ビュンビュン泳ぎます。「これも水のおかげなのかな。」と思い、「元気に生きていてるんだなあ。」と感じました。

三つ目の理由は、子供がたくさん集まつていて、「楽しい！」と言うことです。私は真夏とても暑くて汗だくの日や、涼みたい時に、妹や友達とよく水源に自転車を走らせます。みんな水の中に飛び込んだり、魚を捕まえたり、泳いだりします。気持ちが良くて、楽しいです。また、人も多くてにぎやかです。

「バシャ。」うわつ、やつたなく。」

「きゃー。助けて。逃げろ。」

と言う楽しそうな声も聞こえてきます。水かけ合戦と言う私達が考えた遊びもあります。水をかけ合つて、ぬれないようにするので。最後にはビショビショになりますが、それが気持ち良くて最高です。

轟水源の周りには木や草花も生えていて、そこで遊ぶと自然に包まれたような気持ちになります。葉の間から見える光に反射する水もすごくきれいです。

でも、もし水源がなかったら、魚が元気に泳ぐことはできません。自然にある木も草花も生きていけないし、百年以上もかけてできたおいしい水も飲むことができません。遊べなくなつたら、大好きな場所がなくなり、水かけ合戦もできなくなつてしまいます。また、この頃「水を大切に」と言う言葉をよく聞きますが、私は水の大きい役割りの一つに、人を楽しませることがあると考えます。私達が水源で、笑つたり、うれしくなつたりできるのは、水が人々が楽しめるようにしてくれてくれるのです。これが、「水からのおくり物」だと思います。だから、水を守るために、ゴミを捨てたり、汚ない水を流したりしない事を、いつも頭に置いて過ごしていきたいです。

「あつおいしい」そう思える水が、いつまでもこの轟水源にあり続けますように。